

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
平成30年6月5日 No. 3

思いやり

マドリッド日本人学校の5月と6月は運動会と宿泊体験学習という大きな活動があります。マド日の行事の特徴は「小中学生と一緒に活動する」ことです。

先日行われた運動会で、小学部低学年児童に対して、高学年児童生徒が「自分でできるようになる」ための手助けをしている姿がたくさん見られました。ただ手伝ったり優しい言葉をかけるのではなく「できるように工夫してあげる」大人びた思いやりや心づかいを感じることができました。

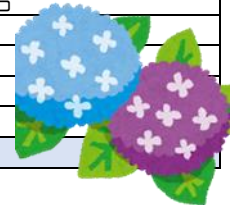
低学年の児童にとってはハードルの高い演技や種目もあったと思いますが、「努力したり我慢したりして立ち向かった後のあとの達成感」があったと思います。高学年の児童生徒は「勝利を目指して低学年児童生徒への支援を工夫」する中で自己の成長や有用感を感じたことと思います。

マド日の児童生徒の思いやりと成長を実感した運動会でした。



6月の予定

1	金	部活動
2	土	
3	日	
4	月	全校集会
5	火	宿泊体験学習前日集会
6	水	宿泊体験学習
7	木	宿泊体験学習
8	金	宿泊体験学習
9	土	
10	日	
11	月	歯科検診 チェンジ漢字テスト 中級算出業
12	火	
13	水	給食 講師招聘学習
14	木	委員会活動
15	金	中学部補充学習会 部活動(小学部)
16	土	
17	日	第1回漢字検定
18	月	学校公開週間 中学部補充学習会 プール開港
19	火	学校公開週間 中学部補充学習会
20	水	学校公開週間 中学部補充学習会 給食
21	木	中学部期末テスト
22	金	中学部期末テスト 部活動
23	土	
24	日	体験生歓迎会
25	月	夏季体験入学開始
26	火	
27	水	給食なし
28	木	
29	金	部活動
30	土	



マド日大運動会

5月に行われた運動会には、お忙しい中たくさんのお来賓保護者の方に御参加いただきありがとうございました。また、子どもたちの演技にたくさんのおほめの言葉をいただき重ねてお礼を申し上げます。

子どもたちの「ふりかえり」の作文を紹介します。

○白団 団長 ○○ ○○ (中3)

僕はこの運動会を通して印象に残ったことが2つあります。1つ目に、僕が運動会で白団の団長をしたことです。僕は小学校の時も今でも、あまりこういった行事に積極的ではなかったのですが、最初はとてもめんどくさいなあと思っていた

ました。

実際に小学生は言うことを聞いてくれなかったり大変だったけれど、団がまとまっていき、みんなで練習するのはとても楽しい経験になりました。

2つ目にダンスです。小学校ではダンスといえるものはなかったので初めてでした。最初はとても難しく動きを覚えられなかったり、覚えたとしても体が思うように動かなかったりと苦労の連続でしたが、家や学校で練習することでだんだんうまくなっていき、完璧とまではいかなかったても、踊れるようになっていきました。何回も繰り返し練習することは大切だということ



が身にしみてわかった気がします。

僕は、これらの経験を通して、今までやってこなかったことにチャレンジしてみることの楽しさを知ることができたと思います。これからいろいろなことにチャレンジしていきたいです。

○赤団 団長 ○○ ○○ (中3)

「最後の運動会」このことを100人に3000回ずつ言われました。その最後の運動会で僕は赤団の団長になることができました。団長として苦労したところは1つだけありました。団ランチの時に話を進めていかなければならないため、弁当が1回も時間内に終わりませんでした。あとは、団長としてきつところはありませんでした。

また、赤団はたくさん練習しました。玉入れ、大縄、リレーの3つを中心に練習しました。僕は縄の練習が良かったと思います。最初は8分で190回だったのが、本番では6分で400回以上いきました。最終的には勝てましたが、それよりも大縄でみんなが連続で跳べるようになったり、リレーのバトンパスが上手になった姿を見れたのが何よりも嬉しいです。

僕は「最後の運動会」から、なんでも練習に練習を重ねれば、できるようになるということがわかりました。



○心にのこった運動会 ○○ ○○ (小4)

わたしが運動会で心にのこったことはつな引きと大なわとリレーでした。

つな引きでは1回目と2回目は勝ちました。でも、3回目はすごくびっくりしました。いきなり白団が赤団を引きずって来たのです。さい後につな引きで引きずられたのがおもしろかったです。

「位ちについて、用意、どん。」今から大なわです。何回か跳ぶとつかれてきました。わたしは○○○君と○○○ちゃんがすごいと思いました。さいしょは、とべなかったけど、いっぱい練習をして、跳べるようになったし、○○○君がこけてしまったけど、もう一回立ち上がってがんばっていたからです。

「はい。」○○○ちゃんがバトンをわたしにわたしてきました。わたしは、全力を出しました。一番気にしていたバトンわたしもきちんとできました。さい後に○○○君がゴールに入った時、わたしは、「やったー。」と言って、とてもうれしかったです。みんなのおかげで、いい運動会ができたと思います。



○がんばった運動会 ○○ ○○ (小4)

運動会で3つ心にのこった事を書きます。

1つ目は、つな引きです。1本目、2本目は負けてしまいました。3本目で、お父さんたちが入って引いた時、つなをそっと持つだけで赤団が全員引きずられていきました。スペイン人の人はとてもすごいです。その後、私のお父さんを見ると、全然つかれてなさそうでした。

2つ目は、ダンスです。ダンスでは、大きなたいこを使いました。なので、手がいたかったです。一番がんばったところは、方向です。方向は、ぐるぐる回ってややこしいので、気をつけました。さい後、お母さんが、「がんばったね。よかったよ。」

と言ってくれました。

3つめはリレーです。全力で走りました。さい後は、負けてしまったけれど、かっこいい負け方だったと思います。あきらめないで走る高学年がかっこよかったです。私もすぐにあきらめない人になりたいです。来年もがんばります。



宿泊体験学習に向けて



6月6日～8日にかけて

「宿泊体験学習」を行います。

事前・当日・事後の集団での活動を通して、「自ら友達とつながっていく力」「自分を

見つめる力」「みんなで不便なことや困ったことに立ち向かう力」「段取りよく物事を進める力」を成長させてきたいと思います。

事前の準備では全員が成長段階に合わせた係活動に取り組んでいます。子どもたちにとって「学校は小さな社会」とであると言われていきます。行事や体験活動の事前の準備や当日の活動を通して自分と集団(社会)との関わりについて与えられた役割を果たすことで感じさせたいと考えています。また、事後指導では、しっかりと自分をふり返って、次の活動や将来の社会に出るからの自分の在り方を考えることに結び付けられたいと考えております。

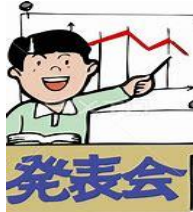
保護者の方には持ち物等の準備でご協力いただくことが多いと思いますがよろしく願いいたします。



学校公開週間のお知らせ

- 日時 6月18日～20日、8.40～16.20
- 事前に「学校公開連絡票」を提出願います。
- 19日の6時間目に「宿泊体験学習報告会」を予定しています。

御多用中とは存じますが、是非御来校いただき、児童生徒の普段の姿と、報告会で精いっぱい自分の思いを伝える姿をご覧ください。



マド日のまなび

■講師招聘学習「農業体験」

昨年、校庭の畑に植えてある「にんにく」をくださったアンヘルさんが、今年はマド日の児童生徒と一緒に作物の苗を植えたいと、スペイン人の大学生とともに学校を訪れ授業をしてくださいました。

鍬を使っての畝の作り方、道具を使っての苗の植え方、雑草を取り除くことの大切さを教えてくださいました。協同で作業をする中で、スペイン語の授業で習ったことを生かし、挨拶や質問をすることができました。秋にはアンヘルさんの畑を訪れ「収穫」のお手伝いをさせていただく予定です。



■放課後英会話教室

受講を希望する児童生徒に対して、語学学校から先生をお招きし、「放課後英会話教室」を始めました。「英語や英会話」の授業で学習した知識や技能を生かし、「英語」でコミュニケーションをとる力をさらに高めていくことをねらいとしています。



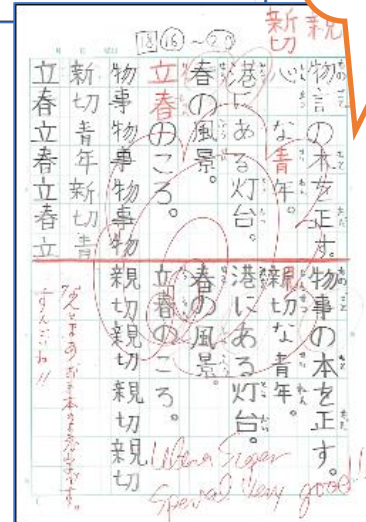
■丁寧な書き取り・図画工作等作品

小学部の生徒が丁寧に「書き取り」や「図画工作」に取り組みました。子どもたちの「学習の跡」をこの「たより」を通して紹介していきたいと思えます。

- 書き取り *一画一画丁寧に書けています。



日本語をきちんと習得させるための「書き取り」です。小学校のうちに基礎をきちんと身につけさせます



- 図画工作 「想像の虫」を作りました！



*細かなところまで工夫されています。



●低学年図画工作

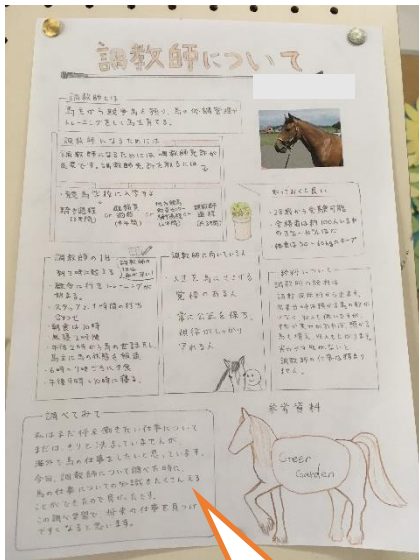
※トトロ口絵の具で描いてみよう

小麦粉を原料とした「トトロ口絵の具」を手付けて自分が描きたいことを思いきり表現しています。

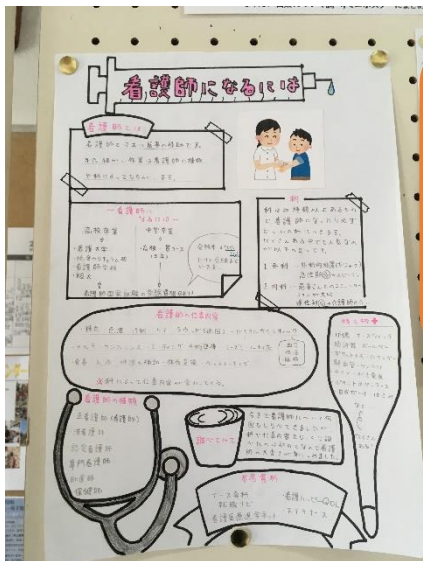


●中学部 国語

※「多様な方法で情報を集めよう」



なりたい職業について調べてミニポスターとしてまとめました。



派遣教員のつぶやき

私が夢を持ったのは小学生の頃でした。「先生になって日本人学校に行きたい！」その夢のきっかけとなったのは小学校1・2年生の担任の先生です。私は個人的に毎日日記をつけていました。母親に無理やりさせられていたのが始まりです…。ある時、その日記を担当の先生に見せると、先生は私の日記に毎日コメントをつけて返してくれました。私はそれが嬉しくて、日記を6年生まで続けることができました。先生は担任が変わってからもずっとコメントを書いてくれました。その先生が、日本人学校に行くことが決まり、その時初めて日本人学校という学校があることを知りました。

私は教師になり、その先生のように日本人学校で自分の人としての幅を広げることが夢へとなっていました。その夢が叶い、私は本当に幸せです。

しかし今、夢が叶うと人は不安になってしまうということを実感しています。その不安とは、叶ってしまうことで、自分を見失うことへの不安です。

そんな時、私はこんな言葉に出会いました。それは私の大好きなディズニー映画「塔の上のラプンツェル」のセリフでした。ラプンツェルは、幼い頃から塔の中で見ていたランタンが舞う絵を実際に目にし、夢が叶います。その時、「夢が叶ってしまったら、次はどうすればいいの?」と言います。私も同じことを考えました。そこで一緒に旅をしていたユージーンが言います。「それが楽しいんじゃないか。また新しい夢を探すんだ。」

夢が叶ったら次の夢を見つけるまでには不安があります。しかし私は、「夢を叶えることは楽しいんだ。夢はいくつも持っていいんだ。そこから楽しいんじゃないか。」と考えることにしました。私自身がこれから次の新しい夢に出会うために、その過程で今のことに本気で取り組みたいと考えています。

